

## 第 40 回 下野市男女共同参画推進委員会事前質問 回答

## ■資料 1

第二次下野市男女共同参画プラン数値目標進捗状況

○質問数…1

ページ	質問【質問者】	回答
p.2 I-3	<p>「自治会長への参画状況」について 女性自治会長が平成 29 年度に比べ減少している。女性が自治会長として活躍するのが難しいのだろうか、それとも地域性なのだろうか？</p> <p>【井上委員】</p>	<p>女性自治会長は、国分寺・石橋地区に少なく、祇園や緑といったグリーンタウン地区で多くなっています。また、負担軽減のため会長職を 1～2 年の交代制にしている地区もあるようで、長年継続して自治会長を務める女性は少ないです。</p> <p>自治会活動や地域の意思決定の場に女性も積極的に参加しようという固定的性別役割分担意識の解消のための啓発は継続して行っているところですが、任意団体である各自治会の裁量となるため、直接的な働きかけは難しいところです。</p> <p>【市民協働推進課】</p>

## ■資料 3

下野市第二次男女共同参画プラン進捗状況報告書【全事業】H31.3.31 現在

○質問数…2

ページ	質問【質問者】	回答
p.5 No.4	<p>「地元野菜を女性の視点で PR」とあったが、料理講習会の対象者は生産者のみで、かんぴょうまつりでの PR のため、と読めたがそうか。そうであるなら、既存のものと差を感じず、男女共同参画の視点を感じるができないと考える。どのような点が積極的か教えていただきたい。</p> <p>【高木委員】</p>	<p>料理講習会は一般市民を対象に募集・開催したものです。平成 30 年度の男性参加者は子どもが 1 名のみであったものの、男女問わず参加することができ、また親子で参加できるものとなりました。</p> <p>市内の女性を対象として構成している農村生活研究グループ協議会のメンバーには、かんぴょうまつり実行委員会や当日の手伝いに参加してもらい、市内の女性の参加を促し各種 PR を行っていることから A 評価としました。協議会には生産者以外も入会でき、参加を広報にて募っています。</p> <p>【農政課】</p>

<p>p.12 No.3</p>	<p>父子手帳発行・配付はとても意義のあることと思う。乳幼児健診時の持参率が低いのは、持参を促す利点が少ないのだろうか。持参率を高める工夫があったら教えていただきたい。</p> <p>【高木委員】</p>	<p>父子手帳持参を乳児健診時の案内に記載しており、参加の記録となるようシール貼付け欄を設けています。参加者の父子手帳にはシールを貼付し、手帳を忘れた方へはシールを配布し、各自で貼るよう案内しています。</p> <p>父子手帳は父親向けの心構えの掲載のほか、子育ての記録を各自が書き込んで使用するもので、乳幼児健診で使用するものではないが、父親の子育て意識を高め、乳幼児健診への父親の参加率が上がるよう持参と利用を呼びかけています。</p> <p>【健康増進課】</p>
----------------------	--	---

■資料4 下野市配偶者等からの暴力対策基本計画進捗状況

○質問数…1

ページ	質問【質問者】	回答
<p>全体</p>	<p>支援体制づくりや受け入れ、自立支援等の取組が充実している反面、表面に出てこないDV等はあるのではないか。</p> <p>生活状況等を把握している民生委員との協議をすることにより、現状を知ることができるのではないかと思う。</p> <p>【井上委員】</p>	<p>市内3地区民生委員児童委員協議会の定例会において、民生委員児童委員に対しこども福祉課よりDVの相談窓口等の紹介を行っております。また、民生委員児童委員がDV防止啓発カードを配付し、事例発生の際には記載の関係機関（DVホットライン、こども福祉課、栃木県警察本部等）に通報することとしています。</p> <p>民生委員児童委員は地区の生活状況を把握するだけではなく、市内3カ所にて月4回実施している心配ごと相談事業において、社会福祉協議会および社会福祉課にて実績内容の確認を行っています。</p> <p>【こども福祉課・社会福祉課】</p>